



株式会社 G-Place 様と郡山市が
フードシェアリングサービス「タベスケ」
導入に係る協定を締結します



2023年10月4日

郡山市環境部

3R推進課

課長 大内 健志

ターゲット 12.5

TEL：924-2188

SDGs ターゲット 12.5 「廃棄物発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

食品ロス削減を図るため、株式会社 G-Place 様（本社：京都府長岡京市）と郡山市が、フードシェアリングサービス「タベスケ」導入についての連携協定を締結します。

- 1 日時 10月11日(水) 午後4時
- 2 場所 市役所庁議室（本庁舎2階）
- 3 出席者 株式会社 G-Place（ジープレイス）
代表取締役社長 綾部 英寿（あやべ えいじゅ） 様
公共イノベーション事業グループ 東日本営業チームマネージャー 渡邊 英毅（わたなべ ひでき） 様
公共イノベーション事業グループ 東日本営業チーム 伏見 芽（ふしみ めい） 様
郡山市長
環境部次長

4 協定の内容

- (1) 「タベスケ」導入及びその1年間の利用に関すること
- (2) その他協定の目的遂行上必要な事項に関すること

<協定締結の経緯>

郡山市は、1人1日当たりのごみ排出量が令和2(2020)年度、令和3(2021)年度の2年連続中核市ワースト1位です。フードシェアリングサービス「タベスケ」の活用で、食品ロス削減によるごみ減量の効果が期待されるため、今回の協定締結となりました。

<フードシェアリングサービス「タベスケ」とは>

お店：賞味・消費期限が近い商品等をタベスケ上で出品

⇒販売できれば売上げにつながる

住民：タベスケで予約し、お店でお得なお買い物ができる

自治体：お店の募集（審査・承認含む）、住民への広報



<その他>

タベスケは2021年からスタートして、2023年10月1日現在、全国23自治体が導入しています。東北では仙台市、福島市及び白河市が導入しています。

フードシェアリングサービスは様々なものがありますが、自治体主導のサービスで登録・出品・取引時いずれの場面でもお店及び住民の方の負担がないのが、タベスケの特徴です。

協定でタベスケを導入するのは、本市が全国初の取り組みになります。タベスケの利用ニーズや食品ロス削減量等を見極めて、協定締結後のサービス継続を判断します。



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます！！

ひらけ 未来へ こおりやま

【参考：民間企業との協奏による郡山市のごみ減量に関する取り組み】

開始時期	内容	目的	協奏企業
2022年2月24日～	手前どりPOP	食品ロスの削減	市内小売店
2022年9月7日～	ペットボトル回収機	ペットボトルのリサイクル	株式会社セブン-イレブン・ジャパン
2022年11月1日～	使用済インクカートリッジ回収	インクカートリッジのリユース・リサイクル	ジット株式会社
2023年1月16日～	不用品リユース	家具・家電のリユース	株式会社ジモティー
2023年2月1日～	小型家電宅配便回収	パソコン・小型家電のリサイクル	リネットジャパンリサイクル株式会社
2023年12月1日～	フードシェアリングサービス「タベスケ」	食品ロスの削減	株式会社G-Place

※市ウェブサイトはこちらからアクセスできます。

<https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/55/81251.html>



手前どりPOP 【市内 166 店舗で実施】



ペットボトル回収機

【市内 76 店舗に設置】



インクカートリッジ回収ボックス

【協奏後 59.6kg 回収】



不用品リユース

【協奏後投稿数約 7,000 件】



小型家電宅配便回収

【協奏後 2,244.3kg 回収】

